

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)統合報告書の 発表記者会見に寄せるアントニオ・グテーレス国連事務 総長ビデオ・メッセージ(2023年3月20日)

国際連合広報センタープレスリリース 23-016-J 2023年03月27日

友人の皆様、

人類は薄氷の上を歩いています。しかもその氷は急速に溶けつつあります。

本日発表された気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 報告書に詳述されているように、この200年間の地球温暖化は、ほぼすべてが人類によって引き起こされたものです。

過去半世紀の気温上昇率は、2,000年間で最も高くなっています。

二酸化炭素の濃度は、少なくとも200万年間で最高です。

気候の時限爆弾が時を刻んでいます。

しかし、本日の IPCC 報告書は、気候の時限爆弾の信管を抜くための教本です。

人類が生き残るためのガイドです。

報告書が示すように、気温上昇を1.5°Cに抑えることは実現可能なのです。

しかしそのためには、気候行動において飛躍的な前進を遂げる必要があります。

この報告書は、あらゆる国や部門が、あらゆる時間枠において極めて速やかに気候変動対策を講じるよう、行動を求める呼びかけです。

(中略)

具体的には、先進国の指導者は、2040年にできるだけ近い時期に排出量正味ゼロを実現することを約束しなければなりません。2040年は、あらゆる先進国が守ることを目指すべき期限なのです。

(中略)

気候変動という課題を解決する準備は、これまでになく整っています。しかし、私たちは今すぐ、超高速のスピードで気候行動に取りかからなければなりません。

私たちには一刻の猶予もありません。

ありがとうございました。

出典：国際連合広報センタープレスリリースより山添拓事務所作成

各国のGHG排出量(%)

1	アメリカ 33.3%
2	中国 11.7%
3	ロシア 5.8%
4	ドイツ 4.8%
5	日本 4.3%
6	イギリス 4.2%
7	カナダ 2.6%
8	フランス 2.5%
9	オーストラリア 1.9%
10	ブラジル 1.8%

軍事費(2013-2021年)の順位

1	アメリカ 6,243.36ドル
2	中国 1,975.89ドル
3	ロシア 630.06ドル
4	サウジアラビア 629.14ドル
5	インド 558.07ドル
6	イギリス 537.36ドル
7	フランス 458.27ドル
8	日本 435.16ドル
9	ドイツ 413.80ドル
10	韓国 367.20ドル

出典：オランダ政策研究NGOトランスナショナル研究所（TNI）報告書

『Climate Collateral Report』 22年11月より山添拓事務所作成